

検査内容変更のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
この度、下記検査項目におきまして、検査内容の変更をご案内いたします。
健康と医療の未来に貢献すべく、より良い検査サービスのご提供に努めてまいります。
謹白

記

■ 変更日 2026 年 7 月 29 日（水）より

■ 対象項目

項目コード (旧項目コード)	検 査 項 目	備 考
01A80 1 (1A80 1)	PD-L1タンパク (IHC) SP263 (TAPスコア)	試薬の一部変更承認に伴う変更



■ 変更内容

当該試薬の使用目的に「デュルバルマブ(遺伝子組換え)の子宮体癌患者への適切な投与を行うための補助に用いる」が追加されました。

本検査は上記使用目的におけるコンプリメンタリー検査(投与前に実施が望ましい検査)として位置づけられたため、案内書記載内容を一部変更いたします。

なお、検査内容・報告内容に関する変更はございません。

変更内容	新	現
臨床的意義	PD-L1は腫瘍細胞表面に発現する物質であり、免疫細胞表面のPD-1に結合することで免疫機能を抑制することが知られています。この結合を阻害する免疫チェックポイント阻害薬の奏功とも深く関係があり、様々な評価方法でPD-L1タンパクの発現を確認することが重要視されています。 TAP (Tumor Area Positivity) スコアは近年注目されているPD-L1タンパクの評価方法であり、全腫瘍細胞面積のうち、PD-L1陽性の腫瘍細胞(TC)及びPD-L1陽性の免疫細胞(IC)の占める面積の割合として定義されます。 本検査は、切除不能胃癌または食道胃接合部腺癌に対する免疫チェックポイント阻害剤の一種である「チスレリズマブ(商品名: テビムブラ®)」や、進行・再発子宮体癌に対する「デュルバルマブ(商品名: イミフィンジ®)」の適切な投与を行うための補助に用いる検査です。	PD-L1は腫瘍細胞表面に発現する物質であり、免疫細胞表面のPD-1に結合することで免疫機能を抑制することが知られています。この結合を阻害する免疫チェックポイント阻害薬の奏功とも深く関係があり、様々な評価方法でPD-L1タンパクの発現を確認することが重要視されています。 TAP(Tumor Area Positivity)スコアは近年注目されているPD-L1タンパクの評価方法であり、全腫瘍細胞面積のうち、PD-L1陽性の腫瘍細胞(TC)及びPD-L1陽性の免疫細胞(IC)の占める面積の割合として定義されます。 本検査は、HER2 陰性の治癒切除不能な進行・再発の胃癌に対する免疫チェックポイント阻害剤の一種である「チスレリズマブ(商品名: テビムブラ®)」の適切な投与を行うための補助に用いる検査です。
関連疾患	胃癌・胃食道部接合部癌・ 子宮体癌	胃癌・胃食道部接合部癌
案内書欄外記載事項	●提出方法 1) 癌細胞の有無が不明な場合もありますので、検査依頼時に病理診断書(コピー)の添付をお願いいたします。(ただし、当社で一般病理検査を実施している場合は不要です。) なお、諸事情により添付できない場合には、依頼書に病理診断名(組織型等)の他、臨床情報等可能な範囲での記載をお願いいたします。 2) 材料は胃癌または子宮体癌(原発巣または転移巣)の未染標本スライド(ホルマリン固定パラフィンブロックから作製されたもの)となります。シランなどのコーティングスライドをご使用のうえ、薄切後は約 40℃で一晩乾燥させた後、ご提出ください。 3) 組織は 4~5μmの厚さに薄切し、なるべく中央に貼り付けてください。 パラフィンブロックでご依頼の場合、未染標本スライド作製のため所要日数が遅れますので、営業員へご確認ください。	●提出方法 1) 癌細胞の有無が不明な場合もありますので、検査依頼時に病理診断書(コピー)の添付をお願いいたします。(ただし、当社で一般病理検査を実施している場合は不要です。) なお、諸事情により添付できない場合には、依頼書に病理診断名(組織型等)の他、臨床情報等可能な範囲での記載をお願いいたします。 2) 材料は胃癌(原発巣または転移巣)の未染標本スライド(ホルマリン固定パラフィンブロックから作製されたもの)となります。シランなどのコーティングスライドをご使用のうえ、薄切後は約 40℃で一晩乾燥させた後、ご提出ください。 3) 組織は 4~5μmの厚さに薄切し、なるべく中央に貼り付けてください。 パラフィンブロックでご依頼の場合、未染標本スライド作製のため所要日数が遅れますので、営業員へご確認ください。